

令和5年（2023年）9月5日

NPO法人ぜんしん 理事長
農水産課長
平塚市農業委員会事務局長

平塚市長 落合 克宏
(公印省略)

令和5年度実施協働事業への審査委員からの助言等について（送付）

日頃より、協働事業に御理解、御協力をいただきありがとうございます。

さて、令和5年8月24日（木）に開催しました中間ヒアリングにおいて、令和5年度実施事業（農業体験を通して不登校やひきこもりの若者と人材不足に悩む農家をつなぐ就農支援事業）について、審査委員から次のとおり助言等をいただきましたので、報告いたします。

記

【審査委員からの助言等】

- (1) 農作業に苦手意識を持っている方もいるとの話があったので、彼らが得意とするデジタル関連のサポート業務を増やしていくことで、活躍の場が広がるのではないかと。
- (2) ひきこもりについては、社会的にも大きな課題であり、今後も増えていくと考えられる。必ずしも就農に繋がらなくとも、自立に向けたいい機会となっていると感じた。
- (3) 農業と福祉の連携は相性がいいように感じる。この相性の良さをアピールするとよい。
- (4) 今ある手引きをグレードアップし、誰が見てもわかるような手引書があるとよい。
- (5) 単に提案事業を実施するだけでなく、来年度以降につなげていくため、また、幅広い層の理解・関心を深めて一緒に取り組んでいく人や支援する人を増やしていくためには、周知・広報が重要である。報告書を作り、関係者に配布して、ホームページに載せるだけでは、周知・広報の目的は達成できない。周知や広報は、行政の役割となっているので、それぞれ創意工夫を凝らした取り組みを期待している。

【審査委員からの質問等】 ※回答不要ですが、今後の事業の参考としてください。

- (1) ニーズは合致したのか。手ごたえはあったか。
- (2) ひきこもりの方の中で、デジタルに強い方の能力は活かされているのか。
- (3) 農家側からの印象はどうだったか。
- (4) 不安点はどのようなところか。

以上

(事務担当は協働推進課市民協働担当)

電話 0463-21-9618 (直通)